



平成29年8月29日
海上保安庁

明神礁の火山活動状況について(8月11日及び24日観測)

8月11日及び8月24日、当庁羽田航空基地所属航空機(MA722及びMA725)により、明神礁の火山活動の観測を行いました。

・8月11日の状況

午後2時57分から午後3時7分までの約10分間観測を行い、海水面に気泡の発生を確認しました(位置：北緯31度54.8分、東経140度2.0分)(図1参照)。

熱画像によると、気泡が確認された場所は周辺に比べて低温*で、低温部は3カ所あり、東西方向に斑点状に分布していました(図2参照)。

*気泡の発生によって海底付近の低温の海水が湧昇流となっていると考えられる。

・8月24日の状況

午後3時34分から午後3時43分までの約10分間観測を行いましたが、変色水、気泡、低温部等は確認できませんでした。

火山活動が続いていると考えられますので、海上保安庁では引き続き航行警報により付近航行船舶に注意を呼びかけています。

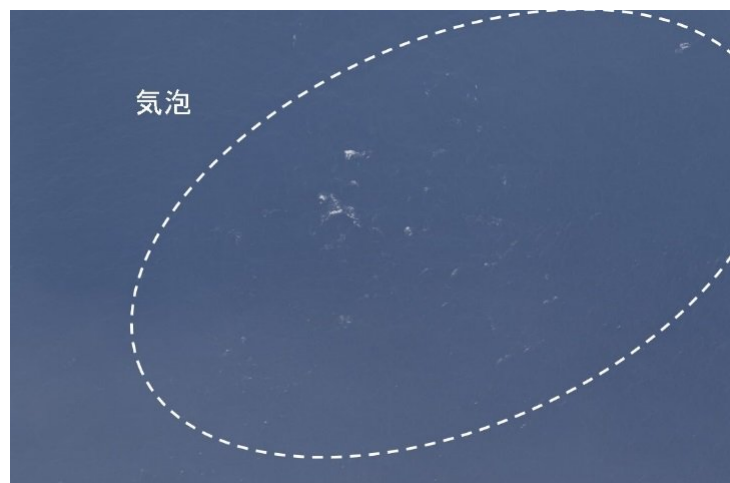


図1 明神礁付近の気泡の様子(8月11日撮影)



図2 熱画像（黒く見える部分が低温部）（8月11日撮影）

【参考】 明神礁について

- ・東京の南方約400km、ベヨネース列岩の東北東約10kmにある海底活火山。頂部の水深は約50m。
- ・度々噴火を繰り返しており、昭和27～28年には大噴火した。

